

国語科 学習指導案

単元名：多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く

弘前大学教育学部附属中学校 森谷 みどり

対象：3年E組 日時：令和3年10月15日(金)4校時

場所：3年E組教室

【国語科研究主題】 学びを自覚し、学びを生かす授業の創造

1 本単元で実現したい「深い学び」

国語科における「深い学び」とは、言葉による見方・考え方を働かせ、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めることである。本単元では「書くこと」において、批評文を書く過程を通して、この「深い学び」を実現したい。

本校国語科で考える深い学びのなかで、特に「最適解を導くために、意見交換などを通して様々な角度や立場から何度も考えること。」を意識して授業を展開し、説得力のある批評文を書けるようにしたい。

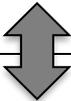
2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。[情報(2)ア]	① 「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。[B書く(1)イ] ② 「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。[B書く(1)ウ]	① 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。[学びに向かう力、人間性等]

3 単元について

本単元では、自分の考えがわかりやすく伝わり、多様な読み手を説得できるような批評文を書くことがねらいである。「批評文」とは、物事の良い点・悪い点などを取り上げて、そのものの価値を論じた文章のことである。説得力のある批評文を書くには、評価する対象を客観的に分析し、根拠を明らかにして述べることが求められる。また、構成を工夫したり、表現を考えたりすることも大切である。生徒たちはこれまでに、観点を決めて文章を比較することで文章を批判的に読み、それを基に自分の考えをもつという学習をした。その学習を生かして、対象となる事柄に適した観点到気づかせ、問いを立てて分析させることで、自分の考えを深めさせたい。さらに、意見交換などを通して様々な角度や立場から何度も考えることで、説得力のある批評文を書くことにつなげたい。生徒達が書きたいという意欲の基に批評文を書くことができるように、題材は自分が批評したいものを自分で決めることにする。学習の振り返りでは、説得力をもたせるために題材を分析すること、根拠を明らかにして書くこと、構成や表現を工夫することが今後の学習や日常生活につながることに気づかせたい。

4 深い学びを実現するための工夫

<p>本単元の学習前の生徒の姿</p> 	<p>(1) 批評文を書いたことはなく、批評文がどのようなものかをよく理解していない。 (2) 1年生の時の学習で、鑑賞文を書いたことがある。 (3) 本単元の前の教材で「批判的に読む」学習をした。 (4) 相手を納得させるための根拠や書き方を意識して書く力が不十分である。</p>
<p>期待する解答・生徒の変容の要素</p>	<p>(1) 批評文とはどのようなものかを理解しようとしている。 (2) 題材にふさわしい観点が何かを考え、様々な視点から分析しようとしている。 (3) 交流を通して、題材に対する分析を深めている。 (4) 分析したり調べたりした情報を取捨選択し、表現や構成を工夫して題材の価値についてまとめようとしている。</p>
<p>生徒の学びの深まりを把握する手立て</p> 	<p>(1) 例の提示・・・【1】 ①批評文とはどのようなものかを参考資料を基に捉えさせる。 ②批評文の例を提示して、書くことへの動機づけをさせる。 (2) 練習・・・【2】 ①例を参考にしながら問いを立てる練習をさせる。 (3) 交流・・・【3】 ①題材を各自が報告し、観点や問いに対してアイディアを出し合い、考えを深めさせる。 (4) 構成・言葉・・・【4】 ①説得力のある批評文を意識させて、構成表にメモをとらせる。 ②教科書の批評するときの言葉などを参考に、伝えたいことを書くためのぴったりの言葉や表現を考えさせる。</p>
<p>本単元の学習後に目指す生徒の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。 ・観点を決めて問いと考えを書き出し、表にまとめるなどして分析している。 ・自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、説得力のある批評文を書いている。

【参考文献】

- ◆中学校国語 学習指導書3下 光村図書出版株式会社 令和3年
- ◆高校生のための批評入門 株式会社筑摩書房 2018年
- ◆書くための勇氣『見方』が変わる文章術 昌文社 2019年

5 単元の指導プラン(6時間扱い, 本時は3時間目) 数字は「生徒の学びの深まりを把握する手立て」の番号を示す

時	主な学習活動	評価規準〈評価方法〉	C評価の生徒への手だて
1	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しをもち、題材を選ぶ。 学習の目標と流れを確認し、学習の見通しをもつ。 批評文について知り、題材を選ぶ。 	<p>態〈ワークシート〉 資料を読みながら、批評文がどうい うものかを理解しようとしている。 批評文の題材を積極的に決めよう としている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 批評文がどのようなものか理解で きるように板書やワークシート で可視化する。 題材として例を示し、その中から 選べるようにする。
2 3 本 時	<ul style="list-style-type: none"> 観点を決めて分析する。 題材を決める。 批評文を書くための観点が 何かを探るために、モデル を見つける。ヒントを探す。 自分なりに問いを立てて分 析する。 交流を通して、題材の分析を 深める。 選んだ題材と立てた問いを 発表する。 問いの吟味や提案をする。 	<p>態〈観察〉 批評文のモデルを積極的に見つけ ようとしている。</p> <p>思〈ワークシート, 観察〉 観点を決めて問いと考えを書き出 し、表にまとめるなどして分析して いる。 他の生徒からの意見や提案を聞いて、 題材に対する分析を深めている。 他の生徒の批評文に役に立つよう な意見を述べたり提案をしたりし ている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 検索するためのキーワードやUR Lを教える。 問いを立てるための観点を教え る。 問いを一緒に考える。 グループ内の意見を参考にさせ る。
4 6	<ul style="list-style-type: none"> 構成を考え、批評文を書く。 引用する資料を選び、出典 を明確にする。 分析を基に、説得力のある 構成を考える。 600字から800字で批 評文を書く。 推敲して仕上げ、批評文を読 み合う。 お互いの批評文を読み合 う。 学習の振り返りをする。 	<p>知〈批評文, ワークシート〉 具体的な題材を基に、その価値につ いてまとめている。</p> <p>思〈批評文, ワークシート, 観察〉 自分の意見を支える根拠となる資 料を引用するなどして構成を考え、 批評文を書いている。</p> <p>態〈批評文, ワークシート, 観察〉 粘り強く表現のしかたを考えたり 資料を適切に引用したりし、批評文 を書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 検索するためのキーワードやUR Lを教える。 構成の例や他の生徒の構成を参考 にさせる。 批評文の例や他の生徒の批評文を 参考にさせる。

6 本時について

本時のねらいは多様な読み手を説得できるような批評文を書くために、題材に対する分析を深めることである。生徒達は、ある程度の量の文章を書くことができる。しかし、自分の書いた根拠が説得力のあるものなのか、読み手を納得させることができるものなのかということに対する意識は強くない。中には、自分で問いを立てることが難しい生徒もいる。本時では自分だけが納得するのではなく、相手も納得するという意識をもたせ、交流を通して問いの吟味や提案を行い、題材への分析を深めさせたい。そして、説得力のある批評文を書くことにつなげたい。

7 本時の展開

段階	教師の働きかけ	予想される生徒の反応や活動	評価 ・ 留意点
導入 3分	1 挨拶 2 前時の復習 ・前時に題材を決めて、自分なりに問いを立てて分析したことを確認させる。	・前時に使用した Jamboard で自分の題材と立てた問いを確認する。	
展開 44分	3 学習課題の提示 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 交流を通して、題材の分析を深めよう。 </div> 4 交流の仕方説明 ・ワークシートと板書で交流の仕方を確認する。 5 交流 ・時間を計り、班ごとに交流をさせる。 ①題材と立てた問いを発表させる。 ②問いの吟味や提案をさせる。 Jamboard に書かせる。	・題材を選んだ理由や思ったことも一緒に発表する。 ・他にどんな視点や問いがあるかと考えが深まるかを聞く。 ・説得力のある批評文を書くことに協力するという意識をもって、考えたことや思いついたことは積極的に伝える。 ・新たな問いや観点に対して自分の考えをまとめる。 ・説得力のある批評文を書くために必要な問いや考えはどれかを考える。	問いの吟味や提案がうまく進まない場合、題材を分析するための観点をヒントとして与える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 評価 思考・判断・表現 〈ワークシート，観察〉 </div> 次の時間に構成を考えることを伝える。 資料を探す時間は次の時間もとることを伝える。
まとめ 3分	7 今日の授業の振り返り 授業の記録に振り返りをさせる。 8 挨拶	・授業の記録に交流を通して深まったことについてまとめる。(新たな視点や問いなど)	

批評文について知り、題材を考えよう。

☆ 批評文とは …

- ① 対象とする事柄の特性や価値などについて
- ② () をもって論じたり、() したりする文章
- ③ () に対象を分析する
- ④ () が必要

☆ 問いの立て方練習 (広告を題材にして)

1 広告を見て思ったこと、考えたこと

2 問い 「〜とは何か」「〜にどんな意味があるのか」「伝えたかったことは何か」「なぜ〜なのか」など

観点

キャッチコピー・構図・制作者の意図や目的・登場人物・文字・配置・色彩 など

観点	問い	自分の考え
キャッチコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・先生とはどんな人のことだろう。 ・「発見!」とは何を発見したのか。 	
構図	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の一角にどんな意味があるのか。 	
制作者の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・何を一番伝えたかったのか。 	

☆ 批評の題材を考えよう。(※条件 みんなが知っているようなもの・こと)

メモ

- 広告・コマーシャル・ポスター・テレビ番組
- 映画・小説・地域の問題
- 時事問題・音楽・行事
- 国語で学習した文学作品
- 音楽で学習した曲の歌詞
- 美術で学習した作品

など

多角的に分析して書こう②

三年

組

番

氏名

観点を決めて分析しよう。

☆ 題材を決めよう。

決定！

- ・ 感じていること
- ・ 思っていること
- ・ 考えていること
- ・ 疑問
- ・ 言いたいこと

など

メモ

☆ モデルを見つけよう。ヒントを探そう。

メモ

観点	問い	自分の考え

☆ 問いを立てて分析しよう。

自分の考え

交流を通して、題材の分析を深めよう。

☆ 学習の流れ・交流の仕方

① 題材と立てた問いを発表する。

(①②を一人六分×班の人数)

- ・ 題材を選んだ理由や思ったことも一緒に。
- ・ アドバイスしてほしいことがあれば伝える。
- ・ 他にどんな視点や問いがあると考えが深まるかを聞く。

② 問いの吟味や提案。
Jamboardに書く。

- ・ もっと聞きたいことや疑問があれば質問する。
- ・ 説得力のある批評文を書くことに協力するという意識をもって、考えたことや思いついたことは積極的に伝える。
- ・ 自分の知っている情報があれば惜しみなく伝える。
- ・ 抽象的か具体的か。抽象的ならばどんな問いにすればいいか。
- ・ 考えを深めるための問いか。
- ・ 新しい視点や問いの提案。

③ 交流したことを基に、分析を深める。

- ・ 新たな問いや観点に対して自分の考えをまとめる。
- ・ 説得力のある批評文を書くために必要な問いや考えはどれか。

④ 必要があれば引用する資料を探す。

● 分析を深めよう。

観点	問い	自分の考え

構成を考え、説得力のある批評文を書こう。

序論 ▼考え・主張		本論 ▼一般論・現状 ▼分析 ▼引用
結論 ▼まとめ		

☆ 批評するときの言葉
<ul style="list-style-type: none"> ・視点 ・意義 ・段階 ・意外性 ・価値観 ・意味づけ ・イメージ ・時代性 ・発想 ・変化 ・共感 ・関連性 ・背景 ・転換 ・固定観念 ・必要性 ・テーマ ・象徴 ・示唆 ・問題性 ・効果 ・思考 ・インパクト ・メッセージ性 ・根拠 ・構造

1	観点を決めて多角的・客観的に分析したり比較したりすることができたか。	A B C
2	資料を適切に引用し、説得力をもたせることができたか。	A B C
3	説得力のある論理展開を考え、意識してまとめることができたか。	A B C
4	批評の言葉を意識してまとめることができたか。	A B C

多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く（見通しをもち、課題をつかむ）

課題

- ・ 具体的な題材を基に、その価値などについて評価する。
- ・ 表現の仕方を考えたり資料を引用したりして、説得力のある文章を書く。

ステップ①

- ・ 批評文について知り、題材を選ぶ。（一時間目）
- ・ 批評文とは。
- ・ 問いを立て方練習。
- ・ 題材を決めよう。

ステップ②

- ・ 観点を決めて分析する。（二時間目）
- ・ 題材を決める。
- ・ モデルをみつける・ヒントを探す。
- ・ 問いを立てて、分析する。

ステップ③

- ・ 交流を通して、題材の分析を深める。（三時間目）
- ・ 題材と立てた問いの発表。
- ・ 問いの吟味や提案。

ステップ④

- ・ 構成を考え、批評文を書く。（四～五時間目）
 - ・ 引用する資料を探す。
 - ・ 構成を考える。
 - ・ 批評文を書く。（六〇〇字～八〇〇字）
- 推敲して仕上げ、批評文を読み合う。（六時間目）
- ・ お互いの批評文を読み合う。
 - ・ 振り返りをする

振り返り

- ・ 観点を決めて分析したり比較したりすることができたか。
- ・ 資料を適切に引用し、説得力をもたせることができたか。
- ・ 論理の展開や批評の言葉を意識してまとめることができたか。

A A A

・ ・ ・

B B B

・ ・ ・

C C C

教材名	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く
-----	--------------------------

(批評文・説得力のある文章を書くコツ)について知っていること

第 1 時間目	月	日 ()	校時
今日の課題			
わかったこと・気づいたこと・これからに生かしたいこと・疑問			

第 5 時間目	月	日 ()	校時
今日の課題			
わかったこと・気づいたこと・これからに生かしたいこと・疑問			

第 2 時間目	月	日 ()	校時
今日の課題			
わかったこと・気づいたこと・これからに生かしたいこと・疑問			

第 6 時間目	月	日 ()	校時
今日の課題			
わかったこと・気づいたこと・これからに生かしたいこと・疑問			

第 3 時間目	月	日 ()	校時
今日の課題			
わかったこと・気づいたこと・これからに生かしたいこと・疑問			

第 7 時間目	月	日 ()	校時
今日の課題			
わかったこと・気づいたこと・これからに生かしたいこと・疑問			

第 4 時間目	月	日 ()	校時
今日の課題			
わかったこと・気づいたこと・これからに生かしたいこと・疑問			

第 8 時間目	月	日 ()	校時
今日の課題			
わかったこと・気づいたこと・これからに生かしたいこと・疑問			

私の一文

学習を終えて身に付いたこと・これからに生かしたいこと